

NeuraTube オフィシャル・リファレンスガイド

| バージョン | 1.0.0 |

| プラットフォーム | Manifest Version 3 / Chrome PWA 対応 |

| 最終更新日 | 2026年3月6日 |

1. NeuraTube が目指す視聴体験の再設計

YouTube は巨大な情報圏でありながら、視聴者が本当に求める「秩序」「集中」「確実性」は提供されていません。

NeuraTube は、この欠落した3つの要素を補完し、視聴体験そのものを“再設計”するために生まれました。本システムが採用するアプローチは、以下の3つのコア・ピラー（観点）から構成されています。

1. Interface Engineering（視界の再構築）
2. Attention Architecture（注意の最適化）
3. Event Reliability（視聴の確実性）

1.1 Interface Engineering — 視界の再構築

YouTube の画面は、視聴者の意図とは無関係に大量の要素が流れ込み続ける構造になっています。NeuraTube はこの構造そのものを再設計し、視界を「必要なものだけが存在する空間」へと変換します。

- Shorts の完全排除: 集中を阻害する短尺動画の徹底的な排他
- おすすめ棚の除去: アルゴリズムによる予期せぬ誘惑の遮断
- カテゴリによる視界の分離: 興味・目的に応じた情報のセグメンテーション
- グリッドの最適化: 視覚的ノイズを抑え、視認性を極限まで高めたレイアウト

これらは単なる“非表示機能”ではなく、視界を再構築するための工学的アプローチ（Interface Engineering）です。

1.2 Attention Architecture — 注意の最適化

視聴者の注意（アテンション）は有限であり、YouTube のアルゴリズムは常にそれを奪おうと画策しています。NeuraTube は、視聴者の注意を「本当に見たいもの」へと再配置するための仕組みを提供します。

- 登録チャンネルを軸にした“聖域化”: 受動的なレコメンドから能動的な購読への回帰
- カテゴリによる興味領域の分離: 脳のスイッチングコストを最小化する設計
- フィード of ノイズ除去: 純粋な更新情報のみが並ぶタイムライン

- PWA による“ホーム画面の排除”: アプリ起動時のノイズ（誘惑）の完全シャットアウト

これにより、視聴者は自分の意思で選んだ情報だけに集中できる環境（Attention Architecture）を手に入れます。

1.3 Event Reliability — ライブ視聴の確実性

YouTube の通知システムは極めて不安定であり、ライブ配信やプレミア公開は“見逃し”が発生しやすい構造になっています。NeuraTube はこの問題を根本から解決するため、イベントの確実性（Reliability）を最優先に設計されています。

- 右クリックからの即時予約: サムネイルからワンアクションで完了する予約フロー
- 60秒前の自動オープン: 開始直前のプレッシャーを排除する自動システム
- OSレベルのウィンドウアクティブ化: 他の作業に没頭していても確実に気づける仕組み
- 待機所の自動リフレッシュ: 配信開始の瞬間を逃さないリアルタイム監視
- 予約一覧の可視化: 自身のスケジュールと完全に同期するコントロールセンター

これらはすべて、「見逃し」という概念を視聴体験から消し去るための仕組み（Event Reliability）です。

1.4 NeuraTube が提供する“新しい視聴モデル”

NeuraTube は、YouTube を単なる動画サイトではなく「自分専用の視聴アプリケーション」として扱うためのツールです。

- 視界の制御
- 注意の設計
- イベントの確実性
- PWA との統合
- カテゴリによる秩序化

これらすべてがシームレスに統合されることで、YouTube は初めて“個人のためのメディア空間”へと変貌を遂げます。NeuraTube はそのための強固な基盤であり、視聴者のデジタル体験を静かに、しかし確実に変革します。

2. システムの導入（インストールプロセス）

本システムは開発版（Unpacked Extension）パッケージとして提供されています。以下の手順に従ってブラウザ環境へデプロイしてください。

1. パッケージの準備 配布されたソースコードのフォルダー一式を、PC内の任意のローカルストレージに保存し、解凍します。
2. ブラウザの起動 Google Chrome（または Edge、Brave 等の Chromium ベース of ブラウザ）を起動します。



3. 拡張機能管理へのアクセス アドレスバーに `chrome://extensions/` と入力し、Enter キーを押して管理画面を表示します。
4. デベロッパーモードの有効化 画面右上にある「デベロッパーモード」のスイッチを ON にします。
5. システムの読み込み 左上に現れる「パッケージ化されていない拡張機能を読み込む」ボタンをクリックし、手順1で解凍したフォルダを選択します。
6. 完了確認 拡張機能リストに「NeuraTube」（バージョン 1.0.0）が追加されていれば、デプロイは正常に成功しています。

3. 初期セットアップ（パーソナライズ）

NeuraTube の強力なフィルタリング機構を稼働させるため、初回起動時のみ以下の3ステップでユーザー独自の「視聴データベース」を構築する必要があります。

- ステップ 1: チャンネルデータのスキャン
登録チャンネル一覧（/feed/channels）にアクセスし、購読中のチャンネル情報をスキャン・インデックス化します。
- ステップ 2: カテゴリの定義
「音楽」「VTuber」「テクノロジー」など、ご自身の視聴傾向に合わせたカテゴリを作成します。
- ステップ 3: チャンネルのアサイン
スキャンされたチャンネルを各カテゴリにアサイン（割り当て）し、視聴フィードをパーソナライズします。

フェーズ1: チャンネルデータのスキャン

1. ブラウザ右上の拡張機能アイコンからポップアップを開き「Settings 」をクリックするか、YouTube ヘッダーに追加された「」ボタンから設定画面を開きます。
2. 「データ保守」セクションにある「YouTube 登録チャンネル一覧を開く」ボタンをクリックします。
3. 新しいタブでチャンネル一覧ページ（/feed/channels）が開いたら、画面右下に表示される赤い「完全スキャン開始」ボタンを押下します。
4. システムが自動的に画面をスクロールし、全登録チャンネルの「名前」「アイコン」「チャンネルID」のインデックス化を開始します（※ 登録数により完了まで数分かかる場合があります）。
5. 「完了！スキャン完了: ○○件のチャンネルを確認しました」と表示されたら、このタブを閉じて構いません。

フェーズ2: カテゴリの定義

1. 設定画面に戻り、「カテゴリ編集」セクションにアクセスします。

2. テキストボックスに任意のカテゴリ名（例: 音楽、VTuber、テクノロジー など）を入力し、「追加」ボタンで登録します。
3. 登録したカテゴリの左側にある「≡」アイコンをドラッグ&ドロップすることで、サイドバーでの表示順序を直感的にカスタマイズできます。

フェーズ3: チャンネルのアサイン

1. 設定画面の「チャンネルリスト & 振り分け」セクションに移動します。
2. スキャン済みの全チャンネルがリストアップされているのを確認します。各チャンネル横のドロップダウンメニューから、先ほど作成したカテゴリを選択して割り当てを行います。設定内容は即座に自動保存されます。
3. 画面上部のフィルタボタンで「未分類」のみを表示させることで、よりスピーディかつ漏れなくアサイン作業を完了できます。

4. フロントエンド・エクスペリエンス（機能詳細）

4.1 フィードの高度な最適化

登録チャンネルフィード（/feed/subscriptions）にアクセスすると、NeuraTube の UI エンジンが自動的に起動し、以下の劇的な変化をもたらします。

- スマート・サイドバー 左側のナビゲーションメニューに、独自のカテゴリメニューがシームレスに統合されます。
 - [📺 全て]: フィルタリングされていない標準のフィードを表示します。
 - [📺 配信予定]: 今後開始予定の待機所やプレミア公開のみを抽出し、時間順にソートします（すでに LIVE 状態のものは最上部に固定されます）。
 - [📁 ユーザー定義カテゴリ]: アサインしたチャンネルの動画のみを美しくフィルタリングして表示します。
- DOM 再利用とスマートリロード カテゴリの切り替えは CSS 制御のみで行われるため、レンダリングの負荷とラグを完全に排除しています。同じカテゴリを再クリックした場合は、最新データを取得した上で瞬時に元のフィルタ状態へ復元します。
- Auto-Fill（自動補充）システム フィルタリングによって表示動画数が減少し、無限スクロールが途中で止まってしまう問題をバックグラウンドで解決します。画面がサムネイルで十分に埋め尽くされるまで、システムが最大50回（動画約1,500件相当）の追加読み込みを自動実行します。
- ノイズ・キャンセリング機能 設定画面から有効化することで、以下の不要な要素をフィードから完全に消し去ります。
 - Shorts の排除: ショート動画単体、およびショート専用棚（シェルフ）を非表示にします。
 - おすすめの排除: 「関連が強い」等のアルゴリズムが無理やり割り込ませる動画棚を検知し、CSS レベルで除去します。
- ダイナミック・グリッド最適化 カテゴリ適用時、現在のウィンドウ幅をリアルタイムに

監視し、1行あたりの表示数（2～6列）を自動で再計算。あらゆるディスプレイサイズにおいて、サムネイルを隙間なく完璧に整列させます。

- クイック・コントロール（ヘッダー UI） YouTube ロゴの右隣に、直感的に操作できる専用コントロールを追加します。
 - リセットボタン: ワンクリックで「全て」の表示に戻り、瞬時にページトップへスクロールします。
 - 設定ボタン: ページを遷移することなく、現在の画面上にダークテーマ仕様の美しいオプション画面をオーバーレイ表示（モーダル表示）させます。

4.2 ライブ・プレミアム視聴支援

- 1クリック予約（コンテキストメニュー） サムネイルや動画リンクを右クリックし、「この配信を自動オープン予約」を選択するだけで予約が完了。ページ下部に表示されるスマートなトースト通知で結果を知らせます。
- インページ予約（ポップアップ） 配信の待機所ページを開いた状態でブラウザの拡張機能アイコンをクリックし、ポップアップメニューから直接予約することも可能です。
- ダッシュボードと視覚的フィードバック 設定画面の「自動オープン予約の管理」セクションにて、予約中の配信を一元管理。LIVE と PREMIERE の専用カラーバッジにより、配信タイプを一目で識別できます。
- フォース・アクティブ自動オープン 配信開始の「60秒前」に、システムがバックグラウンドで自動的に新しいタブを開きます。さらに、OSに対してウィンドウのフォーカス要求（drawAttention 等）を発行し、他の作業中であっても強制的にウィンドウを最前面へ呼び出して見逃しを防ぎます（※ 本機能は設定で無効化も可能です）。
- オート・リフレッシュ 待機所を開いたまま放置していても、予定時刻を過ぎるとシステムが配信ステータスを定期監視します。配信が開始されたことを検知した瞬間にページをリロードし、シームレスに本編の再生へと繋がります。

4.3 PWA（アプリモード）への完全適応

NeuraTube は、YouTube を「ショートカットを作成 > ウィンドウとして開く」機能を利用して PWA（Progressive Web App）としてデスクトップ環境で運用する際に、その真価を最大限に発揮します。

- Zero-Latency Redirect（描画前リダイレクト） PWA は通常「ホーム画面（推奨動画だけの画面）」から起動してしまいがちですが、本システムは DOM が描画される前の初期段階（document_start）で PWA 環境を検知します。一瞬の画面チラつきすら発生させず、爆速で「登録チャンネル（/feed/subscriptions）」へと URL を書き換えるため、最初から独立した専用アプリとして起動したかのような高い没入感を提供します。
- インアプリ・オプション PWA 環境では、外部拡張機能の設定画面を開こうとすると、標

準のブラウザウィンドウに弾かれてしまう不便な仕様があります。NeuraTube が提供する「ヘッダーの設定ボタン」による iframe オーバーレイ方式はこれをスマートに回避。PWA アプリの枠から一歩も出ることなく、すべてのシステム管理を自己完結させることができます。

5. バックエンド・アーキテクチャとデータ管理

5.1 データ保守ユーティリティ

設定画面の「データ保守」セクションより、以下のシステムメンテナンスをいつでも実行できます。

- データ更新（再スキャン）：購読チャンネルが新規に追加された際などに、ローカルのチャンネルインデックスを最新化します。
- キャッシュのみ削除：後述する SCS キャッシュをクリアし、配信予定の検知異常などのトラブルシューティングを行います。
- 全データ初期化：カテゴリ、マッピング、キャッシュなど、すべてのローカルユーザーデータを完全に消去し、システムを工場出荷状態（初期状態）へリセットします。

5.2 要求権限（Permissions）とセキュリティ設計

NeuraTube は、プライバシーを最優先に設計されています。外部サーバーとの通信は一切行わず、ユーザーの個人データはすべてブラウザ内部（Chrome Storage Local）にのみ安全に保持されます。

システムが使用する最小限の権限とその目的は以下の通りです。

| 権限（Permission） | 主な使用目的 |

| storage | カテゴリ設定、表示設定、アサインしたチャンネルの紐付けデータを保存するため。 |

| unlimitedStorage | 膨大なチャンネル情報と動画キャッシュ（SCS）を制限なく保存するため（Chrome標準の5MB制限によるクラッシュを防ぐフェイルセーフ）。 |

| alarms | バックグラウンドでの予約配信の正確な監視（1分周期）および古いキャッシュの定時クリーンアップ（1時間周期）の制御。 |

| tabs | 予約実行時に対象の配信URLを新規タブで開く処理や、既存のYouTubeタブをアクティブ化（最前面化）するため。 |

| contextMenus | ブラウザの右クリックメニュー（コンテキストメニュー）に独自の自動オープン予約オプションをシームレスに統合するため。 |

5.3 コア・ロジックの優位性

- SCS (Smart Cache Stream) システム
YouTube のページ遷移や更新のたびに DOM をフルスキャン・解析する高負荷を避けるため、一度判定した動画のステータス（LIVE、UPCOMING など）をローカルにキャッシュします。48時間を経過した古いキャッシュデータは、バックグラウンドプロセスが自動的かつ安全に破棄します。
- ステルスローダー と Curtain Effect
Auto-Fill（自動補充）が実行されている間、YouTube 標準のローダーアイコンを CSS レイヤーで不可視化（ステルス化）し、裏側で極めてクリーンに API 通信を行います。
また、フィルタリング適用時の「一瞬だけ元の動画が表示される残像」を防ぐため、画面を瞬時に透明化（マスク）し、YouTube 側のデータ更新完了イベント（yt-page-data-updated）を検知した瞬間にマスクを解除する「Curtain Effect（カーテン効果）」を搭載。ストレスフリーで滑らかな画面遷移を実現しています。

6. 重要事項および免責事項

6.1 ローカライゼーション

インターフェースは「日本語」および「英語」に完全対応しており、設定画面からいつでも切り替え可能です。ユーザーが YouTube 側の言語設定を「英語」にして運用していても、内部の解析・フィルタロジックは言語依存せず正常に機能するように設計されています。

6.2 プラットフォーム依存によるリスク

本システムは YouTube 公式 API を経由せず、ブラウザ上の DOM（HTML 構造）を直接解析して拡張機能を実現しています。そのため、YouTube 側で大規模な UI 変更や内部クラス名の変更が行われた場合、一時的にフィルタリング機能が停止したり、レイアウトに崩れが生じたりするリスクがあります。

6.3 免責事項

【ご注意】

- NeuraTube は独立した開発者による非公式なプロジェクトであり、YouTube および Google 社とは一切関係がありません。
- 本システムの使用によって発生したいかなる不利益（アカウントへの影響、データ損失、動作不良による機会損失、精神的苦痛など）についても、開発元および著作者は一切の責任を負いかねます。
- 提供されるすべての機能は「現状有姿（As-Is）」で提供され、将来の YouTube の仕様変更に対する永続的な動作保証はありません。導入および運用は、すべてユーザーご自身の自己責任（ご判断）において行ってください。

7. サポートインフォメーション

アップデート情報、既知の不具合の確認、および機能に関するフィードバックにつきましては、Neura Music Archive の公式サイト等をご参照ください。

<https://neura-music.com/>

© 2026 Neura Music Archive. All rights reserved.